

## 平成21年度第2回津山図書館協議会【概要報告書】

日時 平成22年1月25日(月)午後2時～4時

場所 津山市立図書館 集会室

出席 石井委員 井上美恵子委員 井上美咲子委員 小椋委員 神田委員 児玉委員  
高橋委員 高柳委員 武川栄委員 松浦委員

欠席 池内俊子委員 武川広子委員 宮本有二委員

( 委員長 副委員長 ) 五十音順

事務局 津山市立図書館

### 議事

#### (1) 図書館の現状について

- ・平成21年度津山市立図書館の活動について
- ・図書館電算システムのリプレイスとICタグの導入について

#### (2) 図書館の管理運営について

#### (3) その他

#### (1) 図書館の現状について

- ・平成21年度津山市立図書館の活動について

館長 前回の協議会以降では、9月に新自動車文庫「ぶっくまる」の出発式を行った。今後は未巡回の小学校を中心にサービスポイントの拡大を図っていく予定である。各種の行事も昨年同様に読書活動推進、ビジネス支援など行っている。子育て支援については国の補助金を利用して各図書館に子育て支援コーナーを準備中である。

- ・図書館電算システムのリプレイスとICタグの導入について

館長 現在、委託作業でICタグを貼付している。2月16日から全館休館してリプレイス作業を行い、本館には自動貸出機とセキュリティゲートを設置する。3月3日に稼働式を行う。今後は、機械でできることは機械で、レファレンスなど人がすべきことは人がするように整理をしていく。

委員 前回、協議会の会議録をホームページで公開するかどうか、話し合ったがどのような対応になったか。

館長 概要をまとめて掲載させていただく。掲載は3月以降で新しく改訂したホームページに掲載を予定している。

委員 盗難はあるのか。

館長 蔵書点検の結果からみてあると言わざるを得ない。ICタグとセキュリティゲートの設置による抑止力を期待している。

委員 あまりにゲートの反応が多いようであれば職員の負担がふえるのでは。ICタグとセキュリティゲート運用についてはまた様子を報告してください。

委員 ICとセキュリティゲートについてはもっとPRしないといけないのでは。

館長 臨時休館中に職員研修と掲示なども行う予定。

委員 本館の貸出は100%セルフになるのか。

館長 もちろん職員も窓口で対応する。職員に借りている本を見られたくない人もいると考えてプライバシーにも配慮した。利用者にとっては選択肢が増えたと理解している。

副館長 自動貸出機は貸出券がないと使えないので、券を忘れた人や予約の本がある人は職員対応になる。

委員 自動貸出機はレシートがでるのか。

館長 自動貸出機ではレシートをだし、窓口では出さない。

委員 駐車券は職員が対応するのか？

館長 職員です。

委員 自動貸出機はどこに置くのか？また、返却は？利用者からの意見として、窓口で返却箱に入れるようになって、返却冊数の確認をしてもらえないと心配している人もいる。

館長 自動貸出機は本館に4台。うち3台はサービスカウンターの横に、1台は現在AVのデスクがある辺りに置く。自動返却は回送の処理や予約の確保など再度確認が必要になるため効果的に行えない。返却はサービスデスクにおいてもらう場所を設けて職員が処理する。返却時の冊数確認などは職員に声をかけていただければ対応している。

副館長 自動貸出機でも延滞・長期延滞などはコメントを表示させるようにしている。

委員 貸出券は今のカードが使用できるのか？

館長 現在の貸出券を引き続き利用してもらう。

委員 長期の延滞者・延滞資料があるか？

館長 ある。

委員 ICタグシステムの導入や自動貸出機の導入で職員減はあるか。

館長 新年度に職員配置の見直しを行い、減員予定である。正規職員が本庁に異動する。司書の人事交流の一環としての側面もある。

委員 職員が減ることだが、最近は何か尋ねようにも職員がいないし、サービスデスクには列ができています。いろいろとサービスを展開するのはいいが、サービスデスクが基本のはずだがどうなっているのか。子育て支援の対象事業は何か。

館長 職員の労力を利用者への人的サービスにシフトしていくのは間違いない。リニューアルに向けて仕事のやり方も検討している。

副館長 厚生労働省の子供支援対策臨時特例交付金で10/10の事業。子育て支援に関

わるインフラ整備を図るのがメイン事業。地区館にも子育て支援コーナーをつくる。活用については協働をすすめていきたい。

委員 久米ではボランティアが行事をしている。他の地域ももっと地域の人に参加していけばいいと思う。

館長 その他に勝北支所の議場跡を図書館の書庫として改築する。閉架書庫、6万冊収蔵の予定。津山市北部・東部への団体貸出、配本所の拠点とする。

委員 蔵書計画では45万冊で抑えていたが。

館長 新しい本は買うが、除籍も行って、一定数を維持するという考え方を持っている。

副館長 文部科学省の望ましい規準にそって蔵書計画を考えている。総務省の人口推移予測をみて出しているが、蔵書計画は5年に一度の見直しが必要と考えている。

委員 具体的にどのような本が廃棄になっているのか。

館長 内容的に古い本や、傷みの激しい本、本館・地区館の間で重複している本を減らしている。雑誌の保存年限経過による廃棄もある。

## (2) 図書館の管理運営について

館長 資料の内容で決定している。市長にも説明を行った。

## (3) その他

館長 旧自動車文庫ぶっくまるは外交協会を通してどこか外国で活用される予定。まだ行き先の報告はうけていない。

閉会

閉会挨拶(略)